

資生堂、ユニ・チャーム、ライオンの3社、 店頭メンテナンス機能などの強化に向けた協業を開始

株式会社資生堂、ユニ・チャーム株式会社、ライオン株式会社は、小売店の店頭メンテナンス、売り場づくり、売り場に関するデータ分析などについての協業を開始します。

小売店での店頭メンテナンスを行う資生堂の100%出資子会社、株式会社ジャパンリテールイノベーションの株式の一部をユニ・チャーム、ライオンに譲渡し、持ち株比率は資生堂が60%、ユニ・チャームが20%、ライオンが20%とする合併会社へと移行します。

今後、3社の取り扱うカテゴリーの商品陳列・店頭メンテナンス業務を順次拡大し、3社それぞれが保有する店頭・売り場に関する知見の共有を進めます。この協業により、生活者との重要な接点である店頭を通じた新たな価値提案を行い、業界全体の発展に貢献することを目指します。

協業がもたらす効果

主力カテゴリーの異なる3社が協業することで、活動の効率化やカテゴリー補完の観点から一層各社の強みとシナジーを発揮できると考えています。

① 効率的な店頭メンテナンス

3社とジャパンリテールイノベーションが持つノウハウを活用したスタッフが各社の商品を同時に陳列・メンテナンス作業することで、より効率性の高い活動展開が実現できます。店頭でのメーカー競争力、多様化する流通環境での小売店の売り場活性化に貢献します。

② 生活者にとって魅力のあふれる売り場づくり

異なるカテゴリーの商品を関連付けた売り場の提案を通じて、生活者のライフスタイルに密着したプロモーションの実現や、同一カテゴリー商品を共同で陳列してアイキャッチ効果を高めるなど、関連陳列による消費を喚起する売り場の提案が可能となります。

③ 売り場に関するデータ収集と分析

店頭で得られた売り場に関するデータを、商品カテゴリーを超えて分析することで、生活者のライフスタイルや購買行動、商品選択についての幅広い知見を獲得します。

(参考)ジャパンリテールイノベーションの概要

ジャパンリテールイノベーションは、店頭メンテナンスの効率化を目的に、資生堂と株式会社電通リテールマーケティングの共同出資により2013年7月に設立されました。シーズン毎の棚替え、商品の清掃などの店頭メンテナンスや、商品の売れ行き動向などの情報収集、商品情報の小売店への案内などの店舗への訪問業務を、資生堂を中心とした複数のメーカーから委託されています。スタッフの丁寧な店頭メンテナンスが複数のメーカーから高い評価を得ています。

以上